

# 1 都筑五山を巡り桜を楽しむ散策コース

歩行距離 約 7.2 ㎞ (5.8 ㎞) 12000 歩(9500 歩) 2:30 分 (2:00 分) 休憩・解説時間含

中川駅→山崎公園→水神様→八幡山公園→やさきの道→矢先橋→(ささぶねの道)→  
都筑中央公園(ばじょう谷戸で休憩)→境田貝塚→茅ヶ崎杉山神社→センター南駅を潜る→茅ヶ崎  
城址公園→大塚歳勝土遺跡→センター北駅

**Cクラスの方は「みなきたウォーク」を通り→大塚歳勝土遺跡→センター北駅 解散**

この中川は住民で組織するNPOの活動により花と緑あふれる街へと変身しています。  
H24年2月には「町興し事業」が環境省の主催するコンテストに入賞し百万円相当の花の苗を頂き、  
みんなで花壇に植えています。駅前の交番脇の階段には中川西中学の美術部の生徒が階段ア  
ートを完成させました。遊歩道にはケンケンパの遊びができる場所もあり、広場にはベンチや舞台も  
常設され、憩いの空間を演出しています。



中川駅舎の上はケアプラザ施設

ふれあい広場は花一杯

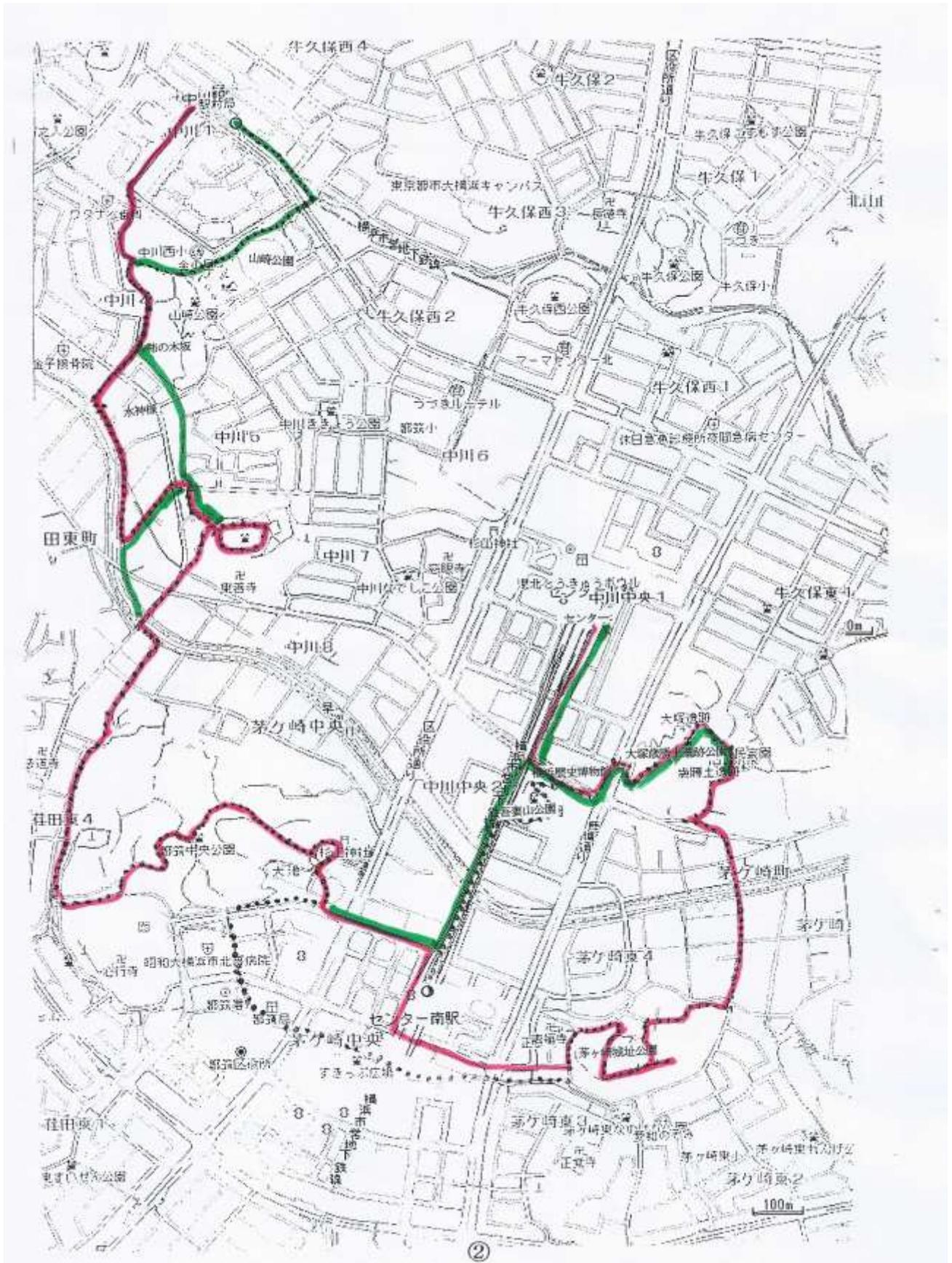
ユニークなデザインの歩道橋

ネオロマネスク風にデザインされた駅前から出発です。交番脇の階段アートを登り右に曲がってオー  
バーブリッジを渡ると左手に小さな花の苗を育てるナーサリーがあります。ここで育てた花が遊  
歩道の花壇に植えられ住民の目を楽しませます。左手が港北ガーデンヒルズです。この銀杏並木を  
直進し、突き当たって階段を下り、左手の中川西小学校のグラウンドに沿って道なり進むと山崎公園  
に入ります。桜の時期だと東屋のある広場は、お花見の人で賑います。直進して桜のトンネルを抜  
ければプールやグラウンドのある広場に出ます。プールから流れ出る水はせせらぎとなって流れ大き  
な池へと流れ込み、トンネルをくぐると「草笛の道」へとつながり、センター北や北山田駅方面へ  
の遊歩道となります。この池では終日お年寄りが釣り糸を垂らし、カワセミやアオサギを狙ったカ  
メラマンが常にいます。今回は広場の東屋を左に見てゆるやかな坂道を下ると「柿の木坂」です。



山崎公園は四季の変化が楽しめます

秋になると禅寺丸柿がたわわに実ります。下りきったところに小さな池と休憩小屋があります。直進し  
て進めば早淵川に出ます。左折してしばらく進めば水神様が祀られています。昔、洪水を防ぐための大  
棚の堰があったところです。左手に緑の山が見えてきます。すぐに左に曲がり直進して八幡山公園に入  
ります。のんびりとした静かな雰囲気公園です。春には桜が満開となって私たちを迎えてくれます。



Cクラスの方は交番脇の階段を上ったら左のステージ広場に出、右折して遊歩道を下ってください。突き当たる手前を右に入ると、すぐに草笛の道の入り口になります。少し階段を下ってトンネルを潜れば右が山崎公園です。道路の下をくぐると池があります。ひねもす釣り人が糸を垂らしています。池ノ上は広い運動場になっていて、ぐるっと桜が取り巻いています。見事な桜を見ながらプールから流れるせせらぎの音を聞きながら歩けば公園の東入口があり、金の星幼稚園があります。正面が山崎公園の山で、右に曲がれば見事な桜のトンネルになります。その先の左手に東屋があり、それに沿って緩やかな道を下れば柿の木坂に入ります。下ったところにも小さな池と休憩小屋があります。そこからは公園のふちに沿って左に曲がれば東入口になります。そこから矢先の道に入ります。150mも進めば八幡山公園の入り口です。少し階段を登れば素晴らしい桜が皆さんを迎えてくれます。桜を堪能しながら一休みもいいですね。



柿の木坂を下ると可愛い東屋と池があります 秋の紅葉は見事です



早淵川沿いにある水神様



春には満開となる桜



巨石のモニュメント

八幡山公園は早淵川沿いの半島が突き出たような小高い丘の上にあります。ここでは縄文初期、中期、弥生時代などの遺跡が昭和 52 年に発見されましたが、発掘せずに未来の人々への遺産として保存してあります。頂上には大きな石のモニュメントと都筑では一番古いといわれている桜があります。広場を一回りしたらもと来た道に戻り左折しやさきの道を通って矢先橋に出、渡って左に入り、すぐに右折します。ここからささぶねの道に入ります。この道はまっすぐ進めば茅ヶ崎公園でセキレイの道につながり、鴨池公園でゆうばえの道にジョイントする長い遊歩道です。ここはちょうど茅ヶ崎中央公園の裏手になります。しばらくすると蛭見橋です。ここから中央公園に入ります。



早淵川からの八幡山公園



ささぶねの道の始まり



烏骨鶏が放し飼いに

蛭見橋を渡ってばじょうじ谷戸に入ります。トイレ休憩です。小さな田んぼや炭焼き小屋もありボランティアの方々が定期的に炭を作り、稲刈りをしています。ばじょうじ池もあり、小鳥たちの楽園になっています。休憩所の裏手の竹林を登り清水谷戸に下り、境田貝塚に上るコースもありますが、今日は炭焼き小屋のほうへ回り、ステージ広場に出ます。ここにも立派なトイレがあります。更に左手に進むと境田貝塚遺跡に出ます。その先を下ると茅ヶ崎杉山神社の横手に出ます。階段は下らずに林の中を宮谷戸の大池に下ります。その脇のレストハウスには色々な資料や展示がありますので、寄ってみてください。



ばじょうじ谷戸の休憩所



ばじょう谷戸の紅梅



小鳥の集まる谷戸の池



境田貝塚後の広場



茅ヶ崎杉山神社



中央公園の雑木林

そのまま歩道橋を渡りセンター南駅の南口に入りますが、**Cクラス**の方はここでショートカット！みなぎたウォークをセンター北に向かってください。途中「吾妻山公園」を下から見上げて、歴史博物館より「大塚歳勝土遺跡公園」に入ります。長澤家の民家園と弥生時代中期の集落を楽しんでください。**A・Bクラス**は駅を潜って直進し「茅ヶ崎城址公園」に入ります。室町時代の地形をうまく利用して造られた、小田原の北条氏の出城と推定されています。空堀や土塁が残っています。北廓にはトイレや休憩所、案内板などが整備されています。時を忘れさせるような自然な空間が私たちを癒してくれます。



北廓より西廓へ向かう道



土塁に囲まれて東廓へ



中郭の広場

城址を出て北に向かうと早淵川の向こうに大塚歳勝土の山が正面に見えます。茅ヶ崎橋からは下流に新装なった勝田橋が見えます。突き当たって左に坂を上ると公園の広場の奥に出ます。上り口に2月初旬なら河津さくらが咲いています。正面に民家園があります。ひな祭りの時期にはお雛様が沢山飾られています。古民家については資料をお読みください。

大塚遺跡と歳勝土遺跡では、その成り立ちを勉強しましょう。詳しくは6ページ以降の資料をお読みください。茅ヶ崎中央公園の境田貝塚の海進時期の解説も興味を引く内容になっています。



早淵川と勝田橋



路傍で見つけた庚申塔



大塚遺跡南面に咲く河津桜



約200年前の江戸中期に古い形式で造られた民家（旧長澤家）です。京雛が飾られていました。



大塚遺跡の縮尺模型



歳勝土遺跡の墓墳群



園内の竹林



大塚遺跡の冬・夏・秋の顔



歴史博物館展望台からの吾妻山



公園の頂上のベンチ



みなきたウォークの道